

# 第6期 第3四半期報告書

(平成12年1月1日～平成12年3月31日)



平成12年5月12日

## 株式会社 旅籠屋本店

---

会社名(定款上の商号)	株式会社 旅籠屋本店
英文名(英文商号)	Hatagoya Honten Co.,Ltd
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

---

## 当四半期までの業績の概況

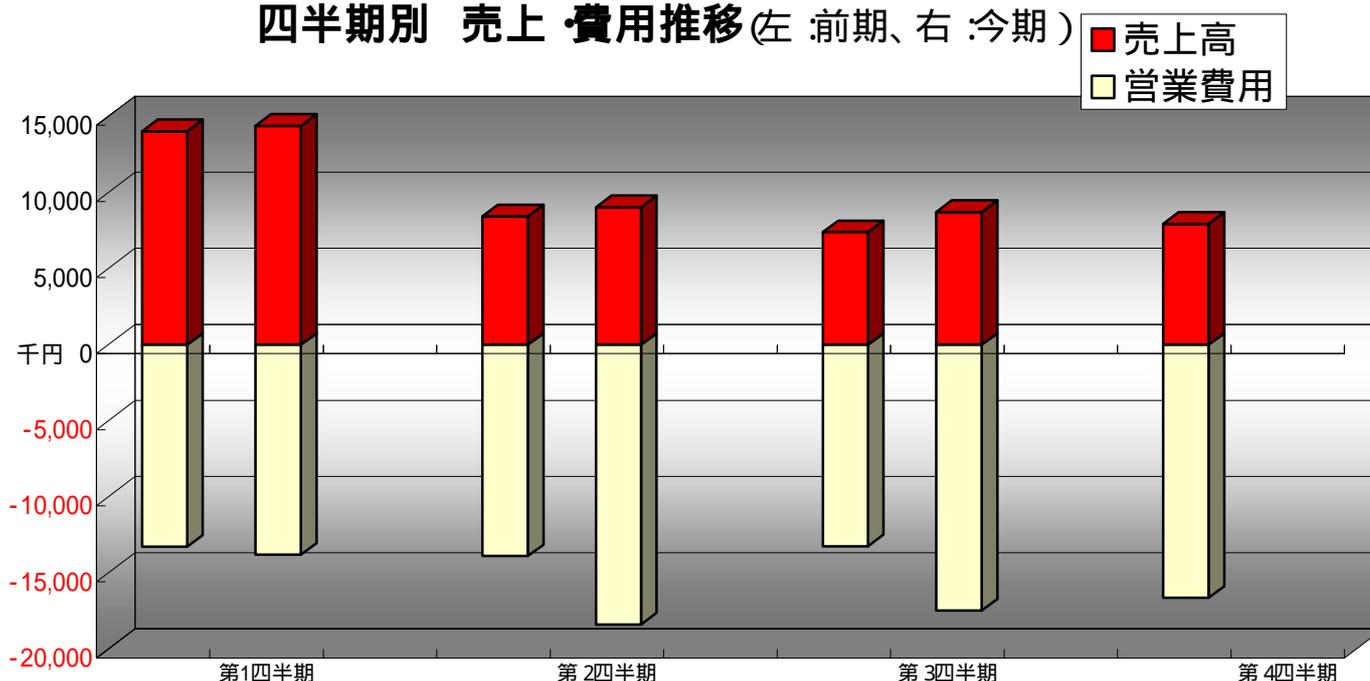
### ( 1 ) 損益の状況

#### 損益計算書 (単位：千円)

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	当期累計	前年同期	前年同期累計
	H11.7.1 ~ H11.9.30	H11.10.1 ~ H11.12.31	H12.1.1 ~ H12.3.31	H11.7.1 ~ H12.3.31	H11.1.1 ~ H11.3.31	H10.7.1 ~ H11.3.31
売上高	14,406	9,057	8,732	32,194	7,418	29,901
営業費用	13,797	18,388	17,488	49,674	13,249	40,398
営業利益	609	9,332	8,756	17,479	5,831	10,497
営業外収益	4	283	80	367	250	254
営業外費用	299	138	8	428	-	-
経常利益	314	9,186	8,666	17,539	5,579	10,243
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-
当期利益	314	9,186	8,666	17,539	5,579	10,243
前期繰越損益	45,982	45,982	45,982	45,982	27,097	27,097
当期末処分損益	45,669	55,169	54,649	63,522	32,677	37,340

期中平均発行済 株式総数	3,000 株	3,215 株	4,980 株	3,727 株	3,000 株	3,000 株
1 株当たり 当期損益	104 円	2,857 円	1,740 円	4,706 円	1,859 円	3,413 円

#### 四半期別 売上・費用推移 (左 : 前期、右 : 今期)

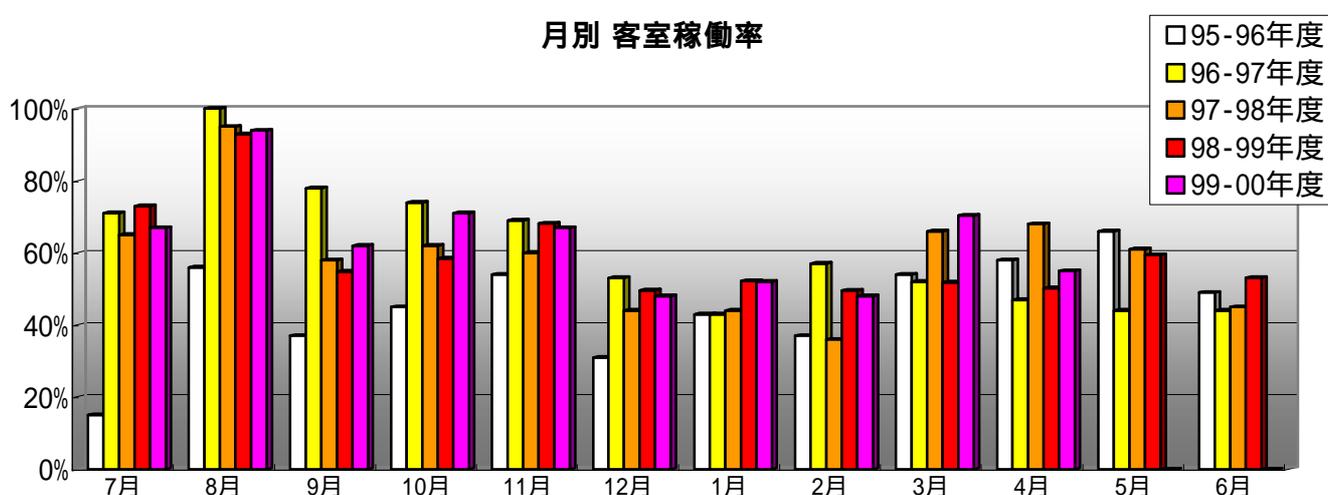


(2) 営業損益の部門別内訳

**店舗の状況**(単位：千円) 売上は「鬼怒川店」のみ、費用は「那須店」「秋田六郷店」を含む

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	当期累計	前年同期	前年同期累計
客室稼働率	74.5%	62.0%	56.3%	63.8%	51.8%	61.5%
客室単価	12,310円	8,920円	9,304円	10,388円	9,361円	10,069円
室料売上	13,492	8,143	7,712	29,349	6,983	27,136
室料外売上	683	457	498	1,638	141	2,029
売上合計	14,175	8,600	8,210	30,987	7,124	29,166
(償却前)費用合計	4,958	7,529	5,128	17,617	4,820	16,038
(償却前)営業損益	9,216	1,071	3,082	13,370	2,304	13,127

月別 客室稼働率



**本社の状況**(単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	当期累計	前年同期	前年同期累計
売上合計	230	455	521	1,207	294	735
(償却前)費用合計	6,766	8,527	8,658	23,952	6,372	18,518
(償却前)営業損益	6,536	8,071	8,137	22,744	6,078	17,783

(注) 償却費(5,266千円)を考慮した店舗と本社の営業損益の当期累計は、17,479千円となります。

「店舗」については、「鬼怒川店」の客室稼働率が、第1・第2に続き、第3四半期も前年を上回り、過去5年間でもっとも高い水準となっており、通期60%達成は確実な見通しとなっております。

売上高も前年同期累計比で6%以上の増となっており、第4四半期に加わる「那須店」(4/25オープン)「秋田六郷店」(6/1オープン)の売上を含めると、今期の売上高は前期の3,785万円、および今期事業計画の3,860万円を10%ほど上回り、4,200~4,300万円となる見通しです。

「本社」については、本社ビルへの自販機設置によって売上が増加しておりますが、モデルプラン作成に関する社外設計スタッフへの委託費、広告宣伝費の増加、繰延資産とした新株発行費の減価償却などによって、前年同期累計で500万円ほどの増加となっております。

## ( 3 ) 財政状態

**貸借対照表**(単位：千円)

	前 期 末 11.6.30	第 1 四半期末 11.9.30	第 2 四半期末 11.12.31	第 3 四半期末 12.3.31
<b>(資産の部)</b>				
流動資産				
現金預金	2,486	14,663	70,048	74,834
その他	219	219	164	139
流動資産合計	2,705	14,883	70,213	74,974
固定資産				
有形固定資産合計	116,671	114,811	142,760	174,731
無形固定資産合計	224	225	225	500
投資等	3,083	10,133	10,083	10,033
固定資産合計	119,979	125,169	153,068	185,265
繰延資産	-	-	7,418	7,309
資産合計	122,685	140,052	230,699	267,549
<b>(負債の部)</b>				
流動負債	1,268	321	1,154	1,856
固定負債	17,400	35,400	35,400	80,215
負債合計	18,668	35,721	36,554	82,071
<b>(資本の部)</b>				
資本金	150,000	150,000	249,000	249,000
剰余金				
当期末処分利益 (うち当期利益)	45,982 ( 18,884)	45,669 (314)	54,855 ( 9,186)	63,522 ( 8,666)
資本合計	104,017	104,331	194,145	185,477
負債資本合計	122,685	140,052	230,699	267,549
発行済株式数	3,000株	3,000株	4,980株	4,980株
1株当たり純資産	34,673円	34,777円	38,985円	37,244円

固定資産の増加は、「那須店」建物取得（建設費の支払い）によるものです。

## ( 4 ) 財務諸表作成の基本となる事項

当期末を除く四半期財務諸表の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5 経理の状況の2 計算書類の注記事項」をご参照ください。

事業年度の財務諸表作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

## 1. 固定資産の減価償却の方法

各四半期の減価償却費は年間発生額の1/4に該当する金額を計上しております。

## 2. 経過勘定項目

未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。

なお、当該四半期財務諸表については、公認会計士の監査証明を受けておりません。

(5) 会計方針の変更

該当事項はございません。

(6) 資金の状況

**現預金の増減** (単位：千円)

	第1四半期 H11.7.1～ H11.9.30	第2四半期 H11.10.1～ H11.12.31	第3四半期 H12.1.1～ H12.3.31
期初現金預金残高	2,486	14,664	70,048
期末現金預金残高	14,664	70,048	74,834
四半期の増減	+12,177	+55,385	+4,786

**借入金の増減** (単位：千円)

	第1四半期 H11.7.1～ H11.9.30	第2四半期 H11.10.1～ H11.12.31	第3四半期 H12.1.1～ H12.3.31
期初借入金残高	17,400	35,400	35,400
期末借入金残高	35,400	35,400	80,215
四半期の増減	+18,000	-	+44,815

借入金残高の増加は、中小企業金融公庫からの融資実行分 45,000 千円によるものです。

**借入金の内訳** (単位：千円)

甲斐 真氏 (代表取締役) より 25,400 千円

事業計画において経常損益が黒字化する 2002 年 6 月期までの 3 年間で据置期間とし、以後 10 年間、長期プライムレート+0.1%の変動金利で、元利均等返済することといたしております。

朝日信用金庫より 10,000 千円 (当四半期新規借入れ)

台東区の中小企業制度融資を利用したもので、年利は 1.2%、5 年間で元金均等返済することといたしております。

中小企業金融公庫より 80,000 千円 (当四半期に一部新規借入れ)

「那須店」「秋田六郷店」の設備資金借入れで、年利は 2.1% (当初 3 年間は 2.0%)、15 年間で元金均等返済することといたしております。3 月に 45,000 千円、4 月に残額の 35,000 千円が実行されております。

## チェーン店の出店計画の進捗状況

### (1) 2号「那須店」について

予定どおり、4月10日に建物が完成、引渡しを受け、4月25日に無事オープンいたしました。ゴールデンウィークはほぼ満室の状況となり、順調な滑り出しとなっております。

### (2) 3号「秋田六郷店」について

4月上旬には建物がほぼ完成。5月11日には支配人が入居し、予定どおり6月1日にオープンとなります。すでに夏休みに満室の日も出ております。

### (3) 4号店以降の計画について

現有の資金は「那須店」の建築費および「秋田六郷店」の土地建物購入資金に充当するため、4号店以降の計画については、今秋に予定している第2次公募増資および現在打診中のベンチャーキャピタルとの協議と具体化する予定です。

なお、昨年末以来各方面から土地活用の引き合いを多く受けており、随時用地視察などの予備検討を行っております。具体的な出店計画については、決まり次第発表する予定です。

### (4) 重要な契約の締結等

とくにありません。

## 当期の業績予想(平成11年7月1日～平成12年6月30日)

	前期(実績)	「事業計画書」記載の当期利益計画	第3四半期末時点での業績予想
売上高	37,850	38,600	42,000
経常損益	18,272	31,956	27,000
当期損益	18,884	33,534	30,000
1株当たり当期損益	6,295	6,734	6,024

「鬼怒川店」が好調なのに加え、短期間ながら「那須店」と「秋田六郷店」の売上が発生するため、今期の売上高は前期に比べ10%以上増加すると予想されます。

いっぽう、費用については、新規出店に関連費などもあり、当期損失は前期に比べ大幅に拡大すると予想されます。ただし、昨年11月作成の「事業計画書」に記載した額に比べ圧縮される見通しです。こうした損失は、当初より予想された過渡的な状況であり、既存店舗の営業が軌道に乗り、さらに新規店舗を出店することにより、平成16年6月期には黒字化する計画です。

## リスク要因に対する対応について

「会社内容説明書」(昨年 11 月の公募増資時点で作成)に記載した特別記載事項(リスク情報)に関し、その後の対応についてご報告いたします。

### (1) 支配人の人材確保

住み込みのフルタイム勤務という特殊な勤務条件でしたが、ハローワークなどへの求人に対し 10 件以上の応募があり、複数の候補の中から「那須店」の支配人を採用することができました。量的にも質的にも適切な人材の確保は可能であるとの見通しを得ています。

### (2) 特定人物への依存

代表取締役である甲斐 真氏への依存リスクを軽減するため、甲斐 真氏を被保険者とし、当社を受取人とする生命保険契約を締結いたしました。

### (3) 通信システムの強化

フレームリレーや専用線を利用して本社・各店舗間の通信を行う WAN システムを整備し、すでに稼動しております。オリジナル運営システムの対応版の開発も行いました。これにより、今後の店舗増加にも容易に対応できる体制が整いました。

### (4) 物件情報の収集

各方面から、多くの物件情報が寄せられるようになっており、情報のチャンネルも出来つつありますので、当面は情報量の不足はない状況です。

### (5) 融資の可能性と条件

中小企業金融公庫からの高額な融資が決定したことは、事業の将来性と社会的意義を評価されたことであり、画期的なことであったと自負しております。

ただし、今後継続して融資が受けられるかどうかは「那須店」「秋田六郷店」の業績次第であり、民間金融機関からの融資は当社が黒字化して以降となる見通しです。

### (6) 飲食物の無償提供の扱い

コーヒー・パン・ジュース等のサービスについては、無料であっても許可の対象とすべき可能性があるとの指摘を保健所から受けておりましたので、「那須店」については「飲食営業」の許可を取得しました。「旅籠屋」の業態やコンセプトを説明し、最小限の設備負担で許可を受けられる見通しが得られたため、「秋田六郷店」を含め、今後の新規店舗については同様の申請を行う予定です。

### (7) 自己資金の不足

4号店以降の出店については、あらたな資金調達が必要となります。そのため、4月21日「ナスダック・ジャパン・クラブ」主催の事業発表会に参加してベンチャーキャピタル各社にプレゼンテーションを行い、複数の企業と協議を開始しております。

なお、迅速に情報を公開するため、当社のホームページに「IR情報」というコーナーを設置しております(<http://www.hatagoya.co.jp/Honbu/IR.htm>)。頻繁に更新しておりますので「PR情報」や「お知らせ」のコーナーとあわせ、ぜひご覧ください。

以上